

国連防災世界会議パブリックフォーラム「日本の事業継続マネジメントの現状と今後」で、講演、パネルディスカッションを行いました（2015/3/16）

テーマ：事業継続計画、企業防災

場所：AER TKP ガーデンシティ仙台（仙台市青葉区）

3月16日（月）、仙台市青葉区のAER TKP ガーデンシティ仙台において、NPO 法人事業継続推進機構主催、内閣府及び当研究所の共催で、国連防災世界会議のパブリックフォーラムとして「日本の事業継続マネジメントの現状と今後～東日本大震災も踏まえて～」が開催されました。このフォーラムにおいて、当研究所の人間・社会対応研究部門 防災社会システム研究分野の丸谷浩明教授が「事業継続マネジメント（BCM）の動向」と題して講演を行い、パネルディスカッションにも参加しました。

事業継続計画（BCP）の策定・運用を含むBCMは、東日本大震災においてその重要性が改めて認識されました。また、国連防災世界会議で採択された仙台防災枠組みの中でも、企業の事業継続、サプライチェーンの維持などの必要性が明記されましたが、このような動きに呼応して本フォーラムは開催されました。

冒頭の丸谷教授等の講演に続き、事業継続推進機構に所属するBCMの専門家による「今後の事業継続における展望」と題する第一のパネルディスカッション、そして、日本各地及びタイ国での取組を紹介する「事業継続のお互い様の取組 ～お互い様 BC 連携ネットワークを活用した成長戦略～」と題する第二のパネルディスカッションが行われました。

その後の第2部では、事業継続推進機構がBCMや企業防災の優れた取組を募集し、表彰する「BCAO アワード」の受賞式および受賞者発表が行われました。2014年度の受賞者として19団体が表彰され、それぞれの先進的な取り組みについて発表が行われました。



フォーラムの様子

文責：丸谷浩明（人間・社会対応研究部門）